

幸町地区総合整備検討有識者会議第4回会議での意見・提案（要約）

◇ 整備コンセプトに関する意見

- 美術館や博物館があり，全体を高め合うようにまとめていくことが理想
- （入船山記念館の）旧呉鎮守府司令長官官舎以外の施設（郷土館，歴史民俗資料館等）は，青山クラブ・桜松館を含めた幸町地区の敷地の中で組み込む発想
- 呉でしかできない，呉だからこそできることは何か
- 長官官舎に関して，青山クラブ（下士官兵集会所）・桜松館との価値・意味を考えると，長官官舎が賑わう必要はなく，価値のある場所として認識されていく視点をコンセプトとして示すことができれば良い。
- 入船山記念館は，計画的に乏しい形で五月雨式に施設を整備してきた経緯があると感じており，歴史民俗資料館の展示環境が悪いため，館内の機能を整理した方が良い。
- 「文化」が歴史も内包している。
- 入船山は呉に海軍が入る前から歴史的に価値があり，このまちの歴史を見てきた。このまちが持ってきた海軍の歴史，海軍が入ってきたことによるまちと市民の歴史をどのように作ってきたのかを内包した場所。青山クラブは，まさにその接点
- コンセプトの説明ワードに，呉の独自性を訴えるものを加えていただくと良い。
- 文化は横軸でそれが縦に流れていくことで歴史になる。文化そのものに歴史がある歴史の中に文化がある。
- 先進地視察を通して，海軍施設だから海軍を踏まえた施設として使っているわけではなかった。使い方を決めていく過程の中で深掘りし，エッセンスとしてどのように残していくのが大切
- 使い方そのものが，未来に向けた形で歴史を踏まえたものになっているのかを考えていく必要がある。

◇ 下倉委員 作成資料説明

- 大和ミュージアムなどの観光施設があるエリア，れんがどおりがある生活や飲食施設があるエリア，幸町地区は文化・交流ができるエリアの中で，生活・飲食エリアと文化交流エリアはとても近い。そのため，観光客や市民の方々も幸町エリアへ来てもらうことができれば，リアルな呉を知ってみたいと考える方々が，れんがどおりを訪れるのではないか。
- 一方で，観光施設がある宝町エリアと交流・生活関連の施設がある幸町エリアや中通・本通エリアが離れており，ルートの的に大回りしなければならない状況にある。
- 各エリアを結びつけないといけないため，都市計画的な観点で考えていく必要がある。
- 桜松館は，幸町地区の中央に位置しており重要な場所。この場所から，美術館や青山クラブ，市民広場へ行くようになれば良い。

◇ 求める機能・新たに整備すべき機能に関する意見

- 呉地方総監部の教育隊に接した市道 幸町海岸線の歩道を拡幅することができれば、素晴らしい通路になる。
- 歴史的建築物としての価値を伝える施設という文言を資料 8 の中に追記してもらいたい。
- 「この世界の片隅に」に関連した施設に関して、当時の呉市民の生活を感じることができる場所を作ってほしい。
- 市民広場がスポーツの場、入船山・幸町地区が文化の場として、人が集まる場になれば良い。
- 金沢 21 世紀美術館のような施設の周りの芝生エリアで、遊んでいる空間を作りたい。
- 幸町地区の整備を進める際に、地区全体をどうするのかを考えた体制を作っていくことが必要ではないか。
- どんな人が使うのかというリストのようなものがあると良い。
- お金を稼ぐ方法も考えておかななくてはいけない。
- 市民の方々に愛されて活かしていくことができる現実的な着地点を考えることも必要

